

平成28年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input checked="" type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	滝澤秀芳
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3522
事務事業名	4913 調査・計画策定事業						
所 属	200200 まちづくり推進部・まちづくり課						
施 策	06013000 土地の有効利用の推進						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	080401 土木費・都市計画費・都市計画総務費					
	事業	030000 調査・計画策定事業					
事業目的				事業概要・効果			
須坂市都市計画マスタープランの基本理念・基本構想に基づき、都市計画道路や都市公園等の都市基盤整備を図り、第五次総合計画に盛り込まれた『みんなが快適に生活できるまちづくり』を推進するため、調査、計画策定を行う。				都市計画制度による秩序ある開発の維持・促進と健康で文化的な都市生活及び機能的な都市活動が確保される。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
都市計画道路、用途の都市計画変更決定 都市計画法34条11号の区域指定（日野、豊洲、日滝） 須坂長野東インターチェンジ周辺地区の開発を推進するためプロジェクトチームを設置した。	都市計画法34条11号の区域指定 第7回線引き定期見直しに向けた調査研究 長野都市圏総合都市交通体系調査の実施 インター周辺開発の推進
平成29年度 予定	平成30年度 予定
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	都市計画審議会で審議を行った都市計画決定、変更、廃止の累計件数						
算式						単位	件
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標	1					
	実績						
指標選定の理由	都市計画区域区分、用途地域、都市施設について決定を行うには審議会への諮問が必要なため。						
最終年度目標の根拠	都市計画の見直し状況に合わせた都市計画審議会にて決定、変更、廃止をおこなった審議議案の累計件数						
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		248	4,299
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	100
一般財源		248	4,199
人員数(人)	正規職員	0.8	0.9
	嘱託職員	0.0	0.3
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	5,766.4	6,487.2
	嘱託職員	0.0	811.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	5,766.4	7,298.7
市民一人当たりの経費		0.1	0.2
総額		6,014.4	11,597.7

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	248	長野都市圏総合都市交通体系調査負担金
その他	0	

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	1,500	都市計画基本図修正業務委託 都市計画調査等業務委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	2,799	長野都市圏総合都市交通体系調査負担金
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	市が実施しなければならない必要不可欠な事業である	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	須坂市の課題解決につながっている	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	効率を追求する事業ではない	

振り返り（決算年度の取組み課題）
予定通りに事業の実施ができた

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
都市計画法第34条第11号の区域指定は完了の予定 IC周辺開発などの課題解決に向けた取り組みを引き続き実施していく必要がある。		まちづくりに大きな効果が期待できる須坂長野東IC周辺開発に向けスピード感をもって取り組んでいく	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	